



# 本年度アカデミー賞®主演男優賞、脚本賞受賞!

第74回ゴールデン・グローブ賞主演男優賞

第88回ナショナル・ボード・オブ・レビュー作品賞・主演男優賞・オリジナル脚本賞・ブレイクスルー・パフォーマンス賞

第70回英国アカデミー賞主演男優賞・オリジナル脚本賞

## 227部門ノミネート・107部門受賞!

# 傑作!

今年、この映画ほど感動した映画はない。  
ユーモア、思いやり、  
人間らしさがつまっている。

——ローリングストーン誌

この映画は、今年一番、  
そしてこれから先もずっと、  
忘れられない一本になる。



いまなお胸に残る痛みと哀しみ、  
傷ついた心に寄り添うように、過去からの再生を丁寧に優しく紡ぐ珠玉の人間ドラマ

アメリカ・ボストン郊外で便利屋として働くリーは、兄の死をきっかけに故郷マンチェスター・バイ・ザ・シーに戻ってきた。兄の遺言で16歳の甥パトリックの後見人となったリーは、二度と戻ることはないと思っていたこの町で、過去の悲劇と向き合わざるをえなくなる。なぜ彼は心を閉ざして生きるのか? なぜすべてを残してこの町を去ったのか? 父を失ったパトリックと共に、リーは小さな一歩を踏み出す決心をする——。

本年度アカデミー賞で見事2冠に輝いた『マンチェスター・バイ・ザ・シー』。本作は、リーの心の傷を描きながら、彼を取り巻く人びとがそれぞれに抱える“痛み”も繊細に映し出す。『ギャング・オブ・ニューヨーク』でアカデミー賞脚本賞にノミネートされ、本作で初のオスカーを獲得したケネス・ローナーガンの脚本はリアリティとユーモアが満載で、そのまなざしは寛容さに溢れ、ささやかだが確かな希望を感じさせる。慎ましくも深く、静かに心に染み入る新たな傑作がここに誕生した。

見事オスカーに輝いたケイシー・アフレックをはじめキャスト全員が好演!  
マット・デイモンが「心に一生涯刻まれる映画」と自負するプロデュース作

主人公リーの孤独と哀しみを体現したケイシー・アフレックの渾身の演技は、各メディアに絶賛され、アカデミー賞、ゴールデン・グローブ賞をはじめ各賞の主演男優賞を独占。さらにリーの元妻ランディを演じたミシェル・ウィリアムズと、甥のパトリックを演じたルーカス・ヘッジズも共にアカデミー賞にノミネートされるなど、キャストたちがいずれも特筆すべき好演を見せている。

本作のプロデュースを手がけたマット・デイモンは、当初、監督・主演も務める予定だったが、スケジュールの都合により監督をローナーガンに、主演をアフレックに委ねた。その結果、「力ある役者と脚本、そしてケネスの演出によって、この映画は忘れられないものになった」と、デイモン。アカデミー賞授賞式では、壇上からアフレックが「チャンスを与えてくれてありがとう」とデイモンへ心からの感謝を贈り、また、監督として『アルゴ』で作品賞を受賞した兄ベン・アフレックと共に、兄弟でオスカーを受賞したことも話題になった。



出演: ケイシー・アフレック ミシェル・ウィリアムズ カイル・チャンドラー ルーカス・ヘッジズ 監督・脚本: ケネス・ローナーガン

2016年/アメリカ/137分/カラー/シネスコ ユニバーサル作品 配給: ビターズ・エンド/パルコ © 2016 K Films Manchester LLC. All Rights Reserved.

manchesterbythesea.jp

## 5/13(土)ロードショー